

各位

会社名 桂川電機株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 渡邊正禮  
 ( JASDAQ コード番号 : 6416 )  
 問合せ先  
 役職・氏名 常務取締役 朝倉 敬一  
 電話 03-3758-0181

平成31年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成30年11月13日に公表しております平成31年3月期の通期連結業績予想を下記のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

平成31年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成30年4月1日～平成31年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	9,300	△ 200	△ 90	△ 50	△ 32.63
今回修正予想 (B)	8,500	△ 650	△ 630	△ 600	△ 391.63
増減額 (B-A)	△ 800	△ 450	△ 540	△ 550	—
増減率 (%)	△ 8.9	—	—	—	—
ご参考: 前期実績 (平成30年3月期)	9,338	△ 620	△ 543	△ 587	△ 383.27

修正の理由

本資料の発表日現在において当第3四半期の業績は、通期連結業績予想値を下回っております。

修正の主な要因として売上げに関しましては、北米やアジアなど各地域でモノクロ機を含めて全体の販売が減速し、第2四半期で見直した計画を大きく下回っていること、当社グループが再度想定した販売価格に対しても海外及び国内における企業間価格競争の激化は止まらないこと、利益改善に向け進めている当期販売予定の新規カラー機の販売時期が遅れるため今期での売上げ見通しが立たなくなったことなどから、売上げの落ち込みは続く予想されます。

また、利益に関しましては、売上げの減収に加え、原材料等の部材価格が上昇してもすぐに価格に転嫁出来ないこと、製品の開発及び生産準備費用などが予定より多く発生していることから、期待していた収益改善が未達となっているなど、売上げ、利益への当社グループの事業環境は厳しい状況が続くものと考えられるため、これらの状況を踏まえ第2四半期で公表の通期連結業績予想を修正するものであります。

なお、為替の損益につきましては、営業外収入に当第2四半期まで86百万円であった為替差益が、当第3四半期では円高に推移したため28百万円となっております。今後も為替の動向につきましては、世界情勢により大きく変動することが考えられること等から、当第3四半期までの公表数値のままとしております。

当社グループにおきましては、新製品販売の遅れや原価低減の遅れを一刻も早く改善し、安定した製品等の供給と生産及び経費等の削減により、業績の向上に注力してまいります。

第3四半期発表以降も業績予想を修正する必要があると判断した場合には、開示基準に従って速やかに開示をいたします。

(業績予想に関する留意事項)

上記の通期連結業績予想につきましては、本資料の発表日現在において、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は経済や為替の動向等の様々な要因により大きく異なる可能性があります。